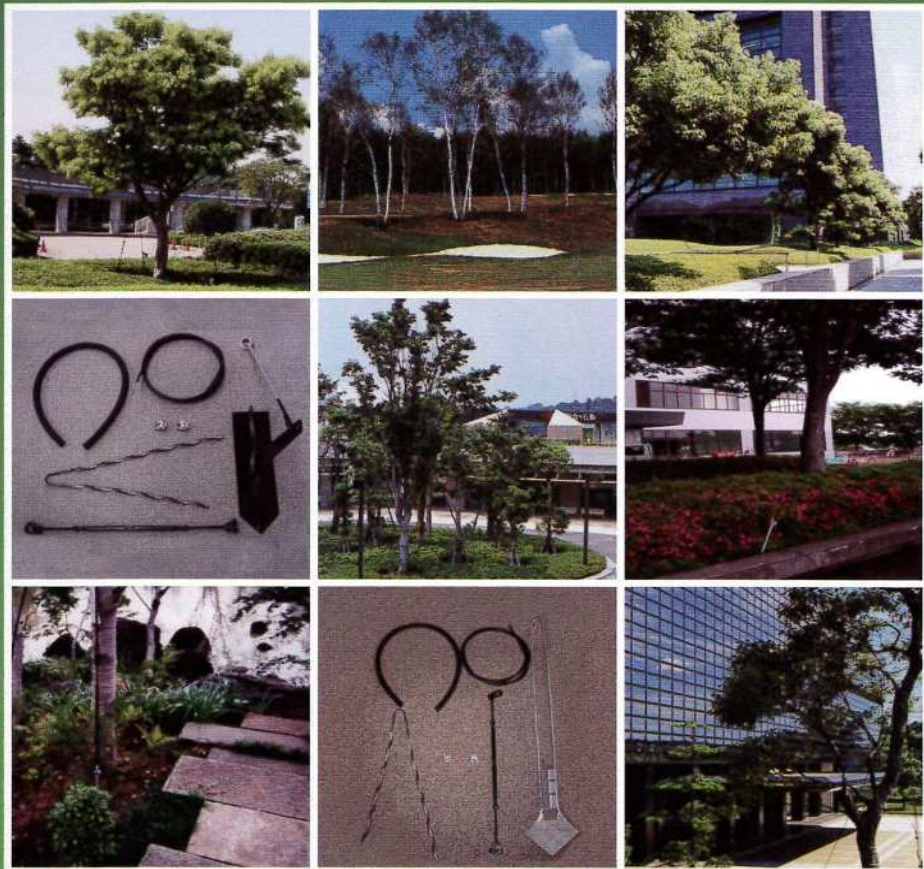


— 自然の景観をそこなわずしっかりと樹木を支える —

WAKOのワイヤー支柱



樹木用ワイヤー支柱。确实・簡単・美しい!!

優れた
耐久性

自然に
フィット

簡単
施工

豊富な
実績

豊富な
品揃え

和興テクノ株式会社

WAKOワイヤー支柱

W型=高・中木用



- 特徴**
- 優れた耐久性で風雨や積雪による継続荷重にも耐えます。
 - 自然にフィットするデザインで景観をそこないません。
 - 工事が簡単で施工後の保守管理も容易です。
 - 永年の経験と技術により高い安全性を確保します。
 - 豊富な品揃えにより様々な樹木に対応します。

ワイヤー支柱 (W型) 樹高別仕様一覧

樹高の目安(参考)	仕様(型式)	品名(部材)	規格	数量(組)
樹高5m以下	W-SA	ワコーアンカー	1号	3本
		被覆ワイヤーロープ	3mm	15m
		ワイヤークリップ	FR-6	6個
		トリীগリップ	3mm	3本
		ターンバックル	PS3/8×150E/J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m
樹高6m	W-A	ワコーアンカー	2号	3本
		被覆ワイヤーロープ	6mm	18m
		ワイヤークリップ	FR-8	6個
		トリীগリップ	6mm	3本
		ターンバックル	PS3/8×300E/J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m
樹高7m	W-B	ワコーアンカー	3号	3本
		被覆ワイヤーロープ	6mm	20m
		ワイヤークリップ	FR-8	6個
		トリীগリップ	6mm	3本
		ターンバックル	PS3/8×300E/J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1.5m
樹高8m	W-C	ワコーアンカー	4号	3本
		被覆ワイヤーロープ	9mm	24m
		ワイヤークリップ	FR-12	6個
		トリীগリップ	9mm	3本
		ターンバックル	PS1/2×300E/J	3本
		樹幹保護材	内径15mm	2.5m
樹高9m	W-D	ワコーアンカー	5号	3本
		被覆ワイヤーロープ	9mm	27m
		ワイヤークリップ	FR-12	6個
		トリীগリップ	9mm	3本
		ターンバックル	PS1/2×300E/J	3本
		樹幹保護材	内径15mm	2.5m
樹高10m	W-E	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	33m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5/8×450E/J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高12m	W-F	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	39m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5/8×450E/J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高14m	W-G	ワコーアンカー	6号	3本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	46m
		ワイヤークリップ	FR-14	6個
		トリীগリップ	12mm	3本
		ターンバックル	PS5/8×450E/J	3本
		樹幹保護材	内径19mm	3m
樹高20m	W-H	ワコーアンカー	6号	4本
		被覆ワイヤーロープ	12mm	88m
		ワイヤークリップ	FR-14	8個
		トリীগリップ	12mm	4本
		ターンバックル	PS5/8×450E/J	4本
		樹幹保護材	内径19mm	4m

優れた耐久性

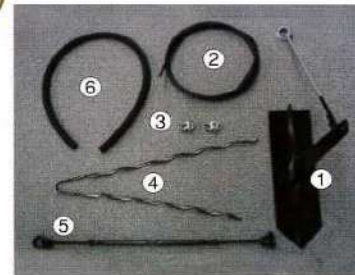
ワコーアンカー標準耐張力

アンカー規格	標準耐張力 Kg/アンカー		
	硬い地盤	普通地盤	軟弱地盤
1号	1,000	500	300
2号	1,500	1,000	700
3号	2,500	1,600	1,200
4号	3,200	2,000	1,600
5号	4,500	2,500	2,000
6号	6,500	4,500	3,000

硬い地盤=地下水が十分に低く、抵抗力の大きい地盤。
普通地盤=多少の湧水があるが比較的抵抗力の大きい地盤。関東ローム層など。
軟弱地盤=地下水が高く、抵抗力が小さい地盤。盛土、埋立地など。
(当社試験データによる)

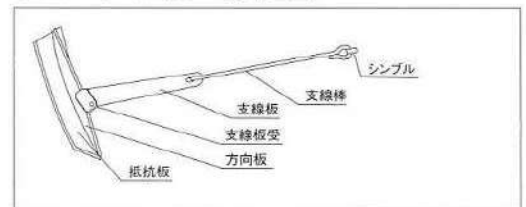
信頼の品質

部材



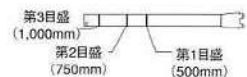
- ①ワコーアンカー
- ②被覆ワイヤーロープ
- ③ワイヤークリップ
- ④トリীগリップ
- ⑤ターンバックル
- ⑥樹幹保護材

ワコーアンカー構造図

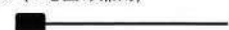


ワコーアンカー専用打込工具(別売)

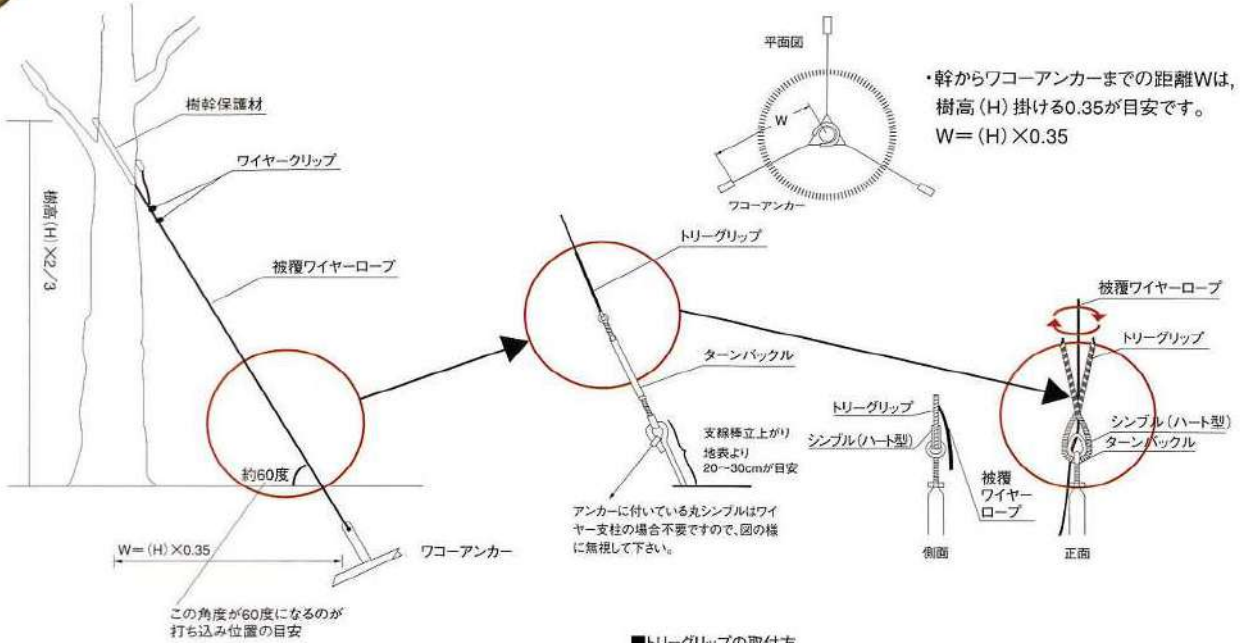
■ガイドパイプ



■打込用パネル(つき固め兼用)



標準取付図



トリーグリップの取付方

ターンバックルに付いている、ハート形シンプルにトリーグリップを通し、被覆ワイヤロープをトリーグリップの溝にはめ込む様に巻き付けて下さい。(その際、根元部分から上の方に巻き付けて下さい。) 長さは左右同じではありません。短い方から巻き付けると、端末処理が楽です。

施工手順



アンカー用の穴を掘り、抵抗板の後端部をパネルで打たいて打ち込みます。(アンカー施工方法も合わせて参照して下さい。)



抵抗板が打ち込めなくなりましたら、専用打ち込み工具のガイドパイプを嵌め込み、目盛りのある所まで再度打ち込みます。



打ち込み終了後ガイドパイプを抜き取り、支線棒の地盤を掘削し、方向を調整した状態で露出させ土を埋め戻し、しっかりとつき固めます。



ワイヤロープに樹幹保護材を通して樹木に掛け、ワイヤークリップを2箇所仮止めします。ラチェットレンチでワイヤークリップを締めつけます。



ワイヤロープ設置完了。(高木の場合は、樹木を寝かせた状態で先にワイヤロープを取り付けておく施工が楽です。)



ターンバックルを支線棒に接続します。トリーグリップをターンバックルのシンプルに通し、ワイヤロープを引き寄せます。

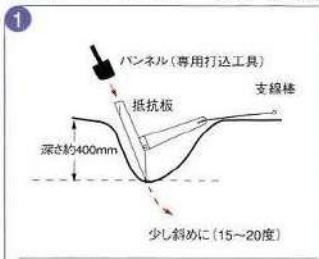


トリーグリップを螺旋状に巻き付けワイヤロープを固定します。(上図のトリーグリップの取付方も合わせて参照してください。)

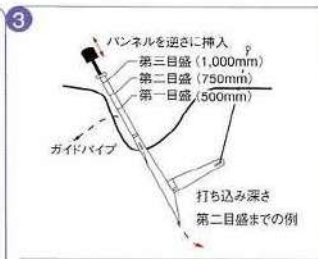
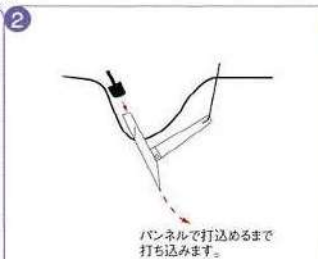


最後にターンバックルを締めて、ワイヤロープがしっかり張るように調整し、ターンバックルの戻り止めナットを締めつけて完了。(全体の据え付け状態を再確認して下さい。)

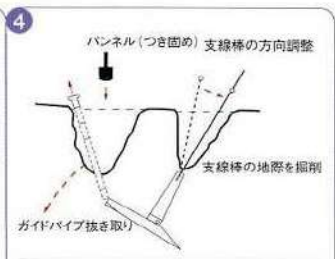
ワコーアンカー施工方法



アンカーの打ち込み位置は上図の標準取付図を参照して下さい。



パネルを上下動させ、アンカーを所定の深さまで埋め込んでいきます。



最後に掘った箇所を埋め戻し、しっかりとつき固めを行い終了。

※適正な施工方法が実施されない場合、所定の耐張力が保持できない場合がありますのでご注意ください。

打込深さの目安

普通地盤=第三目盛まで
硬い地盤=第二目盛まで(但し、1号・2号アンカーは第一から第二目盛まで)

WAKOミニカブトアンカー型

WM型＝密植・中低木用

- 特徴**
- コンパクトなスペースで設置できるため密植する場合に最適です。
 - アンカー1本で2～3本の支線を併設できるため効率的かつ経済的です。
 - 果樹園用としても省力かつ経済的に設置でき最適です。

ミニカブトアンカー型 (WM型) 樹高別仕様一覧

樹高の目安(参考)	仕様(型式)	品名(部材)	規格	数量(組)
低木 樹高2～3m程度	WM-A	ワコーミニカブトアンカー	MK-02号	3本
		被覆ワイヤーロープ	3mm	8m
		ワイヤークリップ	FR-6	6個
		トリレグリップ	3mm	3本
		ターンバックル	PS3/8×150E/J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m
中木 樹高3～5m程度	WM-B	ワコーミニカブトアンカー	MK-1号	3本
		被覆ワイヤーロープ	3mm	15m
		ワイヤークリップ	FR-6	6個
		トリレグリップ	3mm	3本
		ターンバックル	PS3/8×150E/J	3本
		樹幹保護材	内径12mm	1m

※支線併設の場合は数量が変わります。その他の仕様についてはお問い合わせ下さい。

- ご注意**
- ・より大きな耐張力が必要な場合および高木にはワコーアンカー(W型)をご使用下さい。
 - ・アンカーを地面に直接打ち込む方式のため、砂利・岩などの硬質が多い地盤には不向きです。
 - ・アンカーの打ち込みには専用の打込工具が必要です。

優れた
耐久性

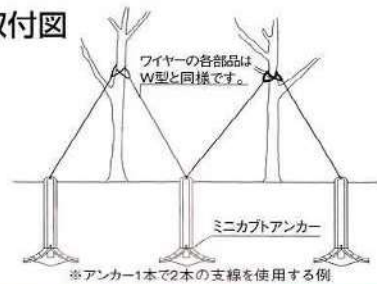
ミニカブトアンカー標準耐張力

アンカー規格	標準耐張力 Kg/アンカー		
	硬い地盤	普通地盤	軟弱地盤
MK-02号	750	500	300
MK-1号	1,500	1,000	600

(当社試験データによる)

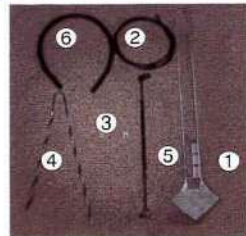
自然に
フィット

標準取付図



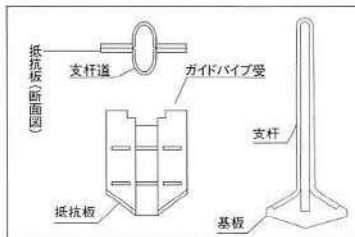
信頼の
品質

部材

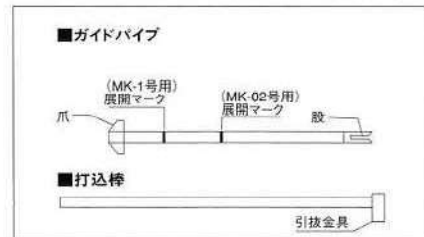


- ①ミニカブトアンカー
- ②被覆ワイヤーロープ
- ③ワイヤークリップ
- ④トリレグリップ
- ⑤ターンバックル
- ⑥樹幹保護材

ミニカブトアンカー構造図

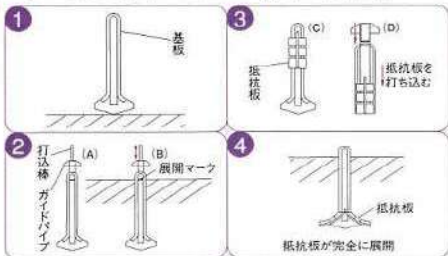


ミニカブトアンカー専用打込工具(別売)



簡単
施工

ミニカブトアンカー施工方法



- ① (1) 打込地点を決定し、その位置に基板を立てて下さい。表土の硬い場合は、深さ20～30cmの穴を掘りますと、作業が容易になります。
- ② (1) (A) 図に示す様に、まず打込棒をガイドパイプに入れた後ガイドパイプ股を、基板にはめ込みます。
(2) 打込棒を上下して、(B) 図に示す様に展開マークが地表に達するまで打込んで下さい。
(3) 展開マークが地表に達したら、打込棒の引抜金具をガイドパイプ爪にあてがい打込棒を上下してガイドパイプを引き抜きます。
- ③ (1) (C) 図に示す様に、抵抗板の支杆道に支杆を通し、打込棒をガイドパイプに入れた後、ガイドパイプ受にガイドパイプ股をはめ込みます。打込棒を上下して抵抗板を打込みます。
(2) 打込みが進むと、ガイドパイプの展開マークが、(D) 図矢印に様に支杆の端末に近づき、展開マークに達したとき抵抗板は完全に展開します。
- ④ (1) ガイドパイプの引き抜き作業を終わります。穴を掘った場合は、穴を埋め戻して下さい。

各製品の規格・仕様は予告なく変更することがありますので、予めご了承下さい。

製造元 **和興テクノ株式会社**

東京都千代田区外神田6-5-4 偕楽ビル5階

総販売元 (お問合せ先) **入交コーポレーション株式会社**

緑花・建材事業部

〒105-0013

東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル8F

TEL 03-6809-2634 FAX 03-6809-2640

□ 大阪 TEL 06-6231-4848

□ 広島 TEL 082-532-5811

取扱代理店